



函中だより

雄々しく 気高く

学校教育目標

夢や希望の実現に向けて 共に高め合う生徒

函南町立函南中学校
令和2年6月8日発行
文責 若月 哲也

学校再開にあたって

校長 久保田 浩子

「おはようございます。」

登校日で顔を合わせると、多くの人が自ら挨拶をしてくれました。今朝も元気な挨拶が響いています。静まり返った学校に活気が戻りました。

さて、4月7日、2，3年生は始業式を行いました。1年生は、翌日の8日に入学式を行いました。今日6月1日は、令和2年度になり、初めて全校生徒が登校できた記念日です。いよいよ、令和2年度が本格的にスタートします。同時に、新型コロナウイルスによる、新しい対応がスタートしますが、気持ちは元気に前向きに頑張りました。

皆さんにとって、たいへん長い休みでしたが、その中で気づいたこと、できたことがたくさんあったようです。休校中の様子についてのアンケートを見て、とてもうれしく思いました。「家族とたくさん話せたよ」「お手伝いをするようになり、家族にほめられた」「自分のペースで家庭学習を頑張った」など、それぞれに与えられた時間をどう過ごすか、どう使うかを、自ら考えて過ごしていたことが伝わってきました。どんな状況にあっても、自分で考え、よりよく生きる力を身につけていくことは、とても大切なことです。

今日からは、学校での仲間との生活です。制限されることは多くなりますが、仲間や先生方とのふれあいや授業を楽しみ、1日も早く学校生活のペースが取り戻せることを願います。「手洗い」「マスクの着用」「換気」「人と人との距離」を意識しながらも、函中生のパワーが発揮されることを期待しています。

皆さんの成長・活躍の場を、先生方はたくさん用意して待っていました。不安なこと、困ったこと、うまくいかないことなど、先生方は、皆さんのすべてを受け止め、全力で向き合ってくれます。時には叱ることもあるでしょう。でも、きっと次の一歩に向けて、指導をしてくれます。人と人との距離は少し開きますが、こういうときだからこそ、心の距離を縮めて、誰もが過ごしやすく、活躍できる学校をつくっていきましょう。(6/1放送による朝礼 校長先生の話より)



約3か月の休校期間が終わり、学校が再開しました。5月中旬以降、段階的に登校機会を増やしてきたこともあって、子どもたちも比較的スムーズに学校生活に順応できているように感じています。子どもたちの表情もとても穏やかで、落ち着いた雰囲気の中で教育活動が再開できています。まずもって、休校中のご家庭でのご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

先週は、学年ごとの時間割の中で教科の授業も始まりました。4日から給食もスタートしています。3密回避のため活動が制限される中ではありますが、少しずつ学校の日常が戻ってきています。「子どもたちの声がする学校…」当たり前のことですが、この当たり前の光景をととても心地よく感じています。今後も、子どもたちの「心の声」にしっかりと耳を傾けながら、学校・家庭・地域が一丸となって、「with コロナ」時代を生き抜くために必要な学校のあり方について模索していきたいと思えます。



引き続き、「マスク」「手洗い」「換気」の徹底をキーワードに、感染予防に努めながら教育活動の充実を図っていきます。ご理解、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

休校中の出来事～感謝の手紙が届きました～

※紙幅の都合により、一部省略しています

私は視覚障がい者です。この手紙をお送りするかどうかを迷っていましたが、その勇気と相手を思いやる気持ちに後押しされて、お送りすることにしました。5月25日の午後2時過ぎ、ある横断歩道での出来事です。私が渡り始めた時、青点滅になっていたようです。横断歩道の真ん中あたりまで来たとき、近くに車の気配を感じました。そのとき、私を助けてくれたのが、函南中学校の生徒さんでした。私の肩に手を添えて、「ゆっくりでいいですよ。一緒に渡りましょう」と優しく声をかけ、無事に渡り切らせてくれました。困っている人を助けてあげるといふ生徒さんの温かい心遣いに感動しました。私が感謝を伝えると、「気にしないでください」と言い残し、去っていきました。私は涙が出そうでした。ぜひ、このことを生徒の皆さんに紹介してあげてください。

コロナ感染拡大防止のため、当たり前だった生活や価値観が一変し、人と人との「距離」が遠ざかっています。そんな折、本校生徒の心温まる行為は、これからの私たちの生き方に大きなヒントを与えてくれているように思います。冒頭の校長先生の話にある「心の距離を縮めて」という言葉の意味も、実感として理解できます。私たちは、お互いに支え合って生きています。自分自身を支えてくれている「つながり」を大切に、「おかげさま」という謙虚な気持ちをもって、日々を過ごしていきたいと思えます。子どもも、大人も、親も、教師も……。

お願い

休校中のため運用を見合わせておりましたが、過日文書にてお知らせいたしましたように、函南町では、町内の小・中学校に留守番電話（録音機能なし）を導入することになりました。働き方改革の取組の一環として、教職員の長時間勤務を是正し、教職員が心身ともに健康を保ちながら質の高い教育に携わることができるよう環境を整えることを目的としています。学校におきましても、業務の効率化を図りながら、教職員がこれまで以上に生徒と向き合う時間を確保し、学校教育の充実に努めてまいります。保護者、地域の皆様におかれましては、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

【留守番電話対応時間帯】

- ※平日……………完全下校時刻から1時間後～翌朝7時30分まで
- ※休業日……………終日
- ※長期休業中…勤務時間（8:00～16:30）を除く時間帯

なお、早朝出発の学校行事や休業日の部活動に係る連絡方法は、別途対応します。緊急を要する場合には、次の機関へご連絡ください。

* 函南町役場 電話 978-2250（代表）

* 三島警察署 電話 981-0110（代表）